



し　　わ　　そう 志　・　和　・　創

厚東川中だより第12号
宇部市立厚東川中学校
令和7年3月19日

3年生11名の巣立ち ～第9回卒業証書授与式を挙行了しました～

校長 岡村 一 利

3月7日(金)に令和6年度厚東川中学校第9回卒業証書授与式を実施しました。3年生は11名と少数ではありましたが、この一年間厚東川中学校のリーダーとして様々な場面でリーダーシップを発揮してくれました。生徒会活動における様々な取組や活動、全校集会における率先垂範、運動会や文化祭では実行委員長として会を思い出に残るものとしてくれました。また、厚東川中学校伝統の「厚東川中夢太鼓」では、3年間の学習の成果を発揮するだけでなく、地域伝統文化の継承者として1・2年生を指導するなどリーダーとしての勇士を見せてくれました。本当に素晴らしい3年生だったと思います。当日は卒業式の門出をお祝いしようと、地域から26名ものご来賓方々のご臨席を得ることができ、3年生の巣立ちを祝う素晴らしい卒業式であったと思います。卒業式における校長式辞ではお祝いの言葉として次のような話しをしました。卒業生の皆様のご健康とますますのご活躍をお祈りします。

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。今巣立ちゆくみなさんに、私からお祝いの言葉を贈らせていただきます。

先日ある人からこんな話を聞きました。「君は魚の涙を見たことがあるか？実は、魚も涙を流すらしい・・・と。」残念ながら私は未だに魚の涙を見たことがないし、魚が涙を流すことが本当かどうか分かりません。皆さんはどうでしょうか？

魚は本当に涙を流すのでしょうか？そもそも、水の中にいる魚が涙を流したところで、私たちにはその涙を見ることはできないように思えます。しかし、私たちの目に見えないということだけで、「存在しない」と決めつけてよいのでしょうか？この世で目に見えるものだけが、唯一確かなもの、唯一存在するものとしてよいのでしょうか？その疑問に対して、こんな「ある人」のことを想像してみてもよいでしょうか？

ある人はクラス仲間との人間関係に悩み、自分の意見すら言い出すことができず、それでもクラスの中でみんなに溶け込もうと必死に頑張っている。ある人は自分の思いが言葉にならず、言いたいだけけど言い出せない。そんな自分に悩み、嫌になり、消えてしまいたいと思っているがそれでも必死に踏ん張っている。ある人は複数の仲間から無視され、言葉による暴力や誹謗中傷を受けている。それでも親や家族には心配をかけないようにと、毎日必死に学校に通っている。ある人は勉強に一生懸命打ち込むのだけれど、なかなか思うような成績が出せず、希望する高校に入れるかどうか、押しつぶされそうな眠れぬ夜を必死に耐えている。ある人は体に病気を抱え、今後どこまで生きられるか？明日を生きることができると不安と戦いながら、孤独な夜を一人耐えて生きている。ある人は家族に特別な対応を必要とする人がいて、ヤングケアラーとして働いている。好きなこともやりたいことも飲み込んで、ひたすら家族のために働いている。ある人は大切な家族を亡くし、食欲もなく日々何もする気にも、人に会う気すら起こらず、それでも大きな喪失感や哀しみに耐え、人に心配をかけない様に毎日を必死に生きている・・・。

こんな「ある人」たちの多くは、私たちには「笑顔」を見せてくれます。親に家族に、先生に仲間に心配をかけないように、不安に押しつぶされ消えてしまいそうになる自分を必死に奮い立たせるために「笑顔」を見せてくれます。しかし、その「笑顔」の奥に大きな「憂い・不安・恐れ、そして哀しみ」を抱えています。私たちの目にはその人の「笑顔」しか写りません。哀しみ等存在しないかのように・・・

今一度、私たちは、自分の目に見えないということだけで、「存在しない」という決めつけをしてよいのだろうか？この世の中で目に見えるということだけが、唯一確かなもの、唯一存在するものなのだろうか？

もし、私たちがある人の「憂い・不安・恐れ、そして哀しみ」を知らないままで、知ろうともせず日々を過ごしていくとしたら、この世界はどんな世界になってしまうのでしょうか？戦争、暴力、誹謗中傷、いじめ等々、現在私たちの世界が抱える大きな「哀しみ」がそこに映し出されている様に思われなりません。皆さんの生きていく21世紀という世紀は、将来の姿を予想することすら困難な時代と言われています。AIに見られるような人工知能の発達、インターネットなど通信技術の発達、交通技術の発達による国境を越えた人の移動など、世界はまさに刻々とその姿を変え、将来の姿を見通すことはできません。しかし、これだけは言えると思います。それは、どんなに人工知能が進歩しようと、どんなに通信技術が進歩しようと、人は人と関わらなければ生きていけないのだと言うこと。そして、人と人が関わる時にこそ「魚の涙を見ようとする気持ちや態度が大切になるのだと思います。それが、1年間皆さんとめざしてきた「がんばり」と「やさしさ」の本当の姿なのだと私は信じています。

私は「魚の涙」を見たことがありません。今後、見ることもできるとは分かりません。しかし、目に見えるものだけを信じ、それだけが唯一確かなもの、唯一存在するものとする人間ではなく、目には見えない「魚の涙」を「見ようとする人」でありたいと思う。みなさんもその仲間であってほしいと心強く思います。(※中段略)

最後になりますが、卒業生の皆さん。これからの人生では穏やかな時ばかりではなく、時には雨風強く、波高くなる時もあるでしょう。つらく悲しく、眠れない夜もあるかもしれませんが、皆さんが厚東川中学校で「鍛えた翼は強い」。どうか、力強く21世紀を生き抜いてください。皆さんの未来が幸多く、光に満ちあふれることを祈り、私の式辞とします。

地域伝統文化の継承 ～楮たたき・塵よりの体験！～

3月12日(水)・17日(月)に総合的な学習の時間での取組として、「楮たたき」「塵より」の体験活動を実施しました。小野和紙の紙すきは統合前の「小野中学校」において、伝統文化の継承として積極的に行われてきたものですが、厚東川中学校においても地域の伝統文化継承としてその取組を継承しております。12月は「紙すき体験」を実施いたしましたが、今回はその紙すきの前段階の作業を体験するものです。しかしながら、2月に実施されたアンケート調査において、教育活動として実施している「紙すき活動」について、生徒の中であまり意識されていない現状が報告され、教育活動を生徒の「学び」として充実するために、改めてその方法について改善することが求められています。厚東川中学校は地域の学校として、地域の伝統文化を継承する使命があると考えており、改めて「なぜ紙すきを継承するのか？」生徒・教職員と共に考え、意義を共有し実践につなげていきたいと考えております。令和7年度は厚東川中学校創立10周年を迎えます。改めて原点回帰！地域の学校として「何をすべきか？」「何ができるか？」をしっかりと考え、充実した「生徒の学び」のための教育活動を展開して参ります。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



令和6年度の保護者・地域の皆様方のご支援に感謝

3月19日(水)に、1・2年生の修了式を終え、無事に令和6年度を終えることができました。保護者・地域の皆様方には、本校の教育活動に対して、様々にご支援を賜り感謝申し上げます。4月からは新しい1年生を迎え令和7年度の「学び」が始まります。更に力強い『日本一「がんばり」と「やさしさ」あふれる厚東川中学校の創造』をめざし教育活動を推進して参りますので、ご指導・ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年4月の主な行事（予定）

- | | |
|------------------------------------|--|
| 3日(木) ノー部活動デー（4日も同じ） | 17日(木) 個人懇談会（希望者・午後） |
| 8日(火) 着任式・始業式・入学式・ALT来校 | 19日(土) 市春季体育大会(卓球・バレー) |
| 9日(水) 給食開始・交通指導・集団下校・部活動紹介・ノー部活動デー | 20日(日) 市春季体育大会(ソフトテニス団体) |
| 10日(木) 学級役員任命式・成長測定・専門委員会 | 21日(月) 交通教室(1年生) |
| 14日(月) 生徒集会・第1回学校運営協議会 | 23日(水) 歯科検診・ノー部活動デー |
| 全国学力学習状況調査(3年生)・(※理科・質問紙) | 24日(木) 情報モラル研修会・PTA総会・学級懇談会・部活動懇談会・ノー部活動デー |
| 15日(火) 眼科検診 | 25日(金) 市中学校教育研究会(川上中)ノー部活動デー |
| 16日(水) 個人懇談会（希望者・午後）・PTA執行委員会 | 27日(日) 市春季体育大会(ソフトテニス個人) |
| 17日(木) 県学力確認問題(1・2年生) | 29日(火) 昭和の日(祝日) |
| 4月全国学力学習状況調査(3年生)・(※国語・数学)・ | 県西部地区中学校卓球大会 |